



Close Up 数々のニュース

次のステージへ

今年も残すところあと一ヶ月。一年を振り返ると遠い昔のように感じる出来事もあったのではないのでしょうか。しかし、今年のこととは、それで終わりではなく、来年へ繋げなければならぬものがあります。新燃岳の火山活動は継続しており、震災復興はこれから。感動を与えてくれたスポーツ選手は次に向けて努力する日々。そして、協働のまちづくりは次のステージへ。今日は明日へ繋がります。今年を頑張った皆さんにとって来年もいい一年でありますように。

その他今年小林市ニュース
3月高機能消防指令センター完成。小林市協働のまちづくり市民フォーラム開催。4月都城きりしま支援学校高等部開校。5月小林市活性化研究会発足。6月

ゆめの輪コミュニケーション感動のファイナル。7月口蹄疫等発生時の防疫業務に関する西諸県地域相互応援協定書調印。肥後市長が姉妹都市である石川県能登町を訪問。8月日本陸上競技連盟ジュ

ニア女子長距離合宿開催。産学官連携小林市活性化研究事業の中間報告会開催。9月小林市自殺対策協議会設立。国土交通省と災害応援協定。10月水資源保全条例施行。新庁舎建設市民懇話会発足。



Close Up 大きく歩みだした 協働のまちづくり

平成23年は、小林市が協働のまちづくりに向けて大きく歩みだした年でした。5月31日、協働のまちづくり市民会議が市長へ、地域の課題解決や振興に向けて、市民と行政が協力する協働のまちづくりの推進を求める提言書を提出。6月12日には、協働のまちづくり推進委員会が発足しました。8月7日、文化会館でまちづくりシンポジウムを開催。早稲田大学の北川正恭教授が「地域のお宝を探し、磨くこと」を市民・議会・行政が一緒に考えるまちづくりを」と講演。10月1日には、市民活動支援センターがオープンしました。同センターでは、NPO法人設立に関する相談に応じるほか、様々な講座を開催。協働のまちづくりの拠点としての役割を果たしています。

①【8月7日】まちづくりシンポジウムで講演する北川教授。②【11月8日】小林市行政改革市民会議（種子田興市長）が提言書を提出。③【10月1日】市民活動支援センター開設。NPO法人設立の相談

に応じるほか、講座を開催。④【11月2日】中央大学と調査研究を行う小林市活性化研究会ワークショップ。平成24年2月には研究報告会を開催予定。⑤【11月7日】小林市市歌検討委員会（井手口敏朗委

員長）が中間報告書を提出。⑥【8月～10月】まちづくり座談会を開催。13会場に546人が参加。⑦【10月23日】吉都線100周年事業検討委員会が10月から毎月1回の早朝美化清掃活動を開